

訪問先	RYGARDCENTRET 老人福祉施設 (デンマーク)
日時	H25年12月16日(月) 13:00~14:30
訪問者	池田、崎元、川原田、大寺、平木、伊藤
訪問先対応	BERIT KRONBY/SUSANNE BEDERSEN/ MONA ANDERSEN

1. 訪問目的

デンマークでは、現在の日本の特養にあたる施設から、医療・介護は在宅ケアへと進められている。神戸にて今後進めようとしている在宅ケアの参考とするため、高齢者福祉施設を訪問し、現在の高齢者医療介護の状況を伺うと共に、在宅ケアとの接点などを調査する。

2. 管理責任者より概要説明

デンマークの状況について説明。

- ・デンマークの TAX は40%くらいから、上限はどんどん上にいく。
- ・高齢者は、体が弱ってくると、社会の責任で介護が行われる。
- ・障がい者は、重症になって在宅で難しいと判断されると施設で入所する。
- ・重症の人の施設42名、通える人62名、そのほかにショートステイ、デイホーム、デイスティ
- ・イーロン 24H 介護となる。看護師、介護士、ヘルパー、また資格のない人もいる。
- ・[RY] というのは、デンマークの言葉で昔語りの略。
- ・入所には、家賃7500クローネ+食事等4500クローネ=12000クローネ必要。
- ・収入の無い人(国民年金のみの人など)は、住宅手当のような年金を追加できる。
- ・元の施設(自宅)から移る手続きもスタッフが行う。
- ・デンマークでは、「親の面倒を子どもが見る」という風習がない。
- ・子どもが親の経済的な支援をすることはない。(頻りに訪問して手伝うが)
- ・逆に日本はどうしているの?と質問があり、介護保険、介護休暇などで対処と答える。また、老々介護が問題になっていることも。
- ・デンマークでも、日本のような時代があった。
- ・配偶者は、何の教育も受けずに、介護をしないといけなくなる。
- ・認知症では、本人が遠慮をし、介護をする若い人には知識がないという問題。
- ・専門家がすることが望ましい。
- ・認知症で在宅でみるのは、どのレベルまで?との質問に、在宅で介護していくうちに、いつかはということ。
- ・デイホームもあり、週に2,3日の利用もできる。
- ・一人で放っておくことができない人。例えばたばこの火を忘れたり。は、ナーシングホームに入る。

- ・これまでの生活や何をしてきたかをよく聞いて、尊厳ある生活を送ってもらう。
- ・ここの職員は皆、心からこの仕事に打ち込んでいる。
- ・近くのインターナショナルスクールとの交流もある。

Q&A

Q：医療と介護の関係は？

A：今までのかかりつけ医が入所後も主治医となる。住民登録をすとかかりつけ医も併せて登録する制度。かかりつけ医に処方された薬を用いる。

Q：在宅の介護は？

A：1日8回のケアなど、自宅で長い間介護をすることもある。

歩行器や車いす etc が貸与される。

1日に3～4回なら在宅の方が安いが、8回になると入所してもらう方がよい。

3. 見学



その1 RYGÅRDの玄関 ちょっとしたホテルのようです



玄関を入ったロビー。



建物の案内図



その2 館内の見学 とても気持ちのいいという椅子を体験



館内のリビングのようなところ。生の木のクリスマスツリー



館内 美しく清掃・整頓されている。



ベランダで休憩中のおばあちゃん。
身体は少し不自由そうでしたが、意識ははっきりとしていて、
この後、ご自身のお部屋の中を見せてくださいました。
亡くなったご主人の描いた絵がたくさん飾られていて、今も、
一緒に暮らしているような感じでした。



